

昭和58年(1983年)11月

# 文化センター開館 記念特集号

発行●京都府八幡市役所

# 八幡市報 やわた



## 田園文化の都市をめざして

八幡市長 西村 正男

八幡市は、田園文化の都市づくりをめざしていますが、ここに開館をみることにした文化センターは、自治省が昭和五十六年度に創設された「田園都市構想推進事業」の指定を受け、京都府からも広域を対象とした大規模複合施設として特別の助成をいただいた施設で、八幡市における文化振興の場であるばかりでなく、広く京都南部の文化の拠点としての性格を持っています。

大ホールは、もちろん多目的ですけれども、残響を自在に調節できるようにしています。ピアノもいものを備えましたし、防音の練習室も設け、小ホールのほかに講習や会議のための部屋も数多く用意いたしました。これからは、このメカニズムをフルに使いこなして、文化を広く深く自分のものにするとともに、おたがいのふれ合いを高めることが、私たちの仕事になります。

開館の喜びをかみしめるとともに、市民のみなさんといっしょになって、ここから新しい文化をつくり出していくことに意欲のみなざるのを覚えています。

## 文化センターの完成に寄せて

八幡市議会議長 関 東 利 一

文化センターは、十萬都市をめざす本市の基本構想の柱となる施設として企画されたもので、市民あげてその開館を待ち望んでいたところで、

ここに無事完成をみましたことは、市当局とともに、この大事業にとりくんで参りました市議会といたしましても、この上のない喜びでありまして、心からのお祝いを申し上げます。

八幡市が市制を施行して満六年になりますが、この間における市民のみなさんによる文化活動の高まりは、誠に目みはる思いがいたします。これから、この文化センターで、各種の演劇や演奏会、講演会や展示会などが盛んに行われることとなりますが、単に文化や芸術に親しむばかりでなく、広く市民のコミュニケーションを育てる場として活用されることを念願しています。

# ふれあいと文化の広場

## 来年四月分まで使用申込受付中

待望の文化センターが完成、いよいよ十一月三日の文化の日にオープンします。文化センターは、昭和五十六年十月十四日に着工以来、一年十一カ月をかけて建築され、さる八月三十一日に竣工してからはオープンに向け、設備の調整や運営の準備を進めてきたものです。

施設の内容は、大、小ホールのほか、展示室、練習室、リハーサル室、会議室、各種講習室など多数の部屋があり、はば広い利用が期待されています。

固定イス二二〇席、車イス用コーナー十席分と、親子室二室(親子八組分)をもち、舞台が見やすいワンフロア方式です。演劇からオーケストラまで催し物の内容により、最適な音響が得られるよう、特別設備が設けられています。舞台は間口二十m、高さ九m、奥行十五・四mで、各種吊物、照明設備がととのっています。また難聴の方がお手もちの補聴器で鑑賞していただけるループシステムも採用しています。

ゆったりとした客席での鑑賞は、きつと満足していただけることでしょう。

●小ホール  
客席は、パーティー、レセプション、展示会にも利用できる平床式で、イスが七百席までならべられます。舞台は、間口九m、高さ四m、奥行六mで、音響反射板、舞台照明の設備があるほか、控室が二室と荷物用のエレベーターが配置されています。

### ●展示室

絵画、書道、工芸、彫刻などの展示場として、市民団体やグループ、あるいは個人の創作発表の場として利用できます。

移動式の展示パネルが二枚あり、展示壁面の総面積は二七四・六㎡、総延長は五五・六mです。

### ●練習室

小人数の音楽や舞踊をはじめ演劇などの練習の場として、三つの練習室があります。このうち一室は和室で敷舞台もついています。三室とも防音設備がされています。

### ●リハーサル室

壁面に練習姿がうつる大きな鏡を備えており、舞台げい古のほか、コーラス、音楽、バレエ美容体操、ヨガなどに利用できます。練習室と同じく、防音設備がされています。

### ●会議室

二十人収容の部屋が二室と百人収容の部屋が一室あり、会議や打合せ、小規模の研修会などに利用できます。

### ●特別会議室

十六人分のソファと五人分の補助イスが配置され、天井にシャンデリアが輝く豪華な部屋です。会議だけでなく、応接室としても利用できます。

### ●講習室

日常の研修と講習のため、七室の講習室があります。このうち二室は和室です。特別な設備として、美術工芸用の二室には給排水や工作機具用の電気のコネクセントがあり、陶芸用の電気炉もあります。料理用の部屋に

は美習台が七台設けられています。また、和室には茶道用の炉や水屋の設備があります。ほかの二室は、二十人と三十人が収容できる部屋で、もちろん会議室としても利用できます。

### ●暗室

個人の家ではなかなか設備できない写真のための暗室を設けました。グループや個人で利用できます。

### ●市民ロビー

玄関を入ったところは、広い市民ロビーです。ロビーには所々にソファが配置され、喫茶室と一体で、くつろぎの場、「語らいの場」としていつでも利用できます。また、各階のロビーにも談話や打合せができるようにソファを配置しています。

## ◆施設使用の申込方法は

文化センターの使用申込は、一階の事務室で次の方法により受付けています。

### ●申込み方法

申請者が印鑑を持って直接おいでください。(その際、申請書に催し物の内容や使用時間などを具体的に記入していただきます。電話や郵送による申込みはお受けできません。)

### ●申込受付時間

午前9時から午後6時まで。ただし、休館日は除きます。

### ●申込期間

使用される日の6ヵ月前から申込順に受け付けます。同一時間に申込みが競合したときは、申請者間の協議または抽選によって許可の順位を決めます。

### ●開館時間

午前9時～午後9時30分

### ●使用時間

使用時間には、準備、練習、入・退場、あとかたづけなどすべての時間を含みます。

### ●休館日

定期休館日は12月28日から1月4日まで。このほか、設備の保守点検のため、臨時に休館することがあります。

### ●基本使用料

使用時間の区分と基本使用料は別表のとおりです。基本使用料は申込時に納めていただきます。なお、大、小ホールの附属設備使用料は、使用前の打合せで決定のうえ納めていただきます。

## ●諸室基本使用料

(単位:円)

室名	収容人員	面積	使用区分			
			午前 9:00~12:00	午後 13:00~17:00	夜間 18:00~21:30	
大ホール楽屋	個室 第1	2	14	900	1,100	1,100
	個室 第2	2	14	900	1,100	1,100
	大部屋 第1	20	30	600	800	800
	大部屋 第2	20	30	600	800	800
	大部屋 第3	20	30	600	800	800
	控室	2	10	600	800	800
会議室	展示室	—	146	3,000	3,800	3,800
	第1	20	42	1,000	1,300	1,300
	第2	20	46	1,100	1,400	1,400
	第3	100	98	2,100	2,600	2,600
	特別室	16	57	3,600	4,500	4,500
練習室	リハーサル室	—	145	3,000	3,800	3,800
	第1	—	32	700	800	800
	第2	—	32	700	800	800
	第3(和室)	—	45	900	1,100	1,100
	第1	20	53	1,100	1,400	1,400
	第2(美術工芸)	20	53	1,100	1,400	1,400
	第3(美術工芸)	30	79	1,700	2,000	2,000
講習室	第4(料理)	40	112	2,900	3,500	3,500
	第5	30	75	1,700	2,000	2,000
	第6(和室)	(21畳)	56	1,100	1,500	1,500
	第7(和室)	(24.5畳)	62	1,300	1,600	1,600
	暗室	—	12	300	400	400
小ホール	第1	6	14	300	400	400
	控室 第2	6	14	300	400	400

- 商品の展示や営業行為等の場合は100%を加算します。
- 2区分以上にわたって使用される場合は、合計金額の90%とします。
- 使用時間延長の場合はホールの例によります。

## ●ホール基本使用料

(単位:円)

施設名	使用日	使用区分		
		午前 9:00~12:00	午後 13:00~17:00	夜間 18:00~21:30
大ホール	平日	24,000	40,000	42,000
	土、日、祝日	29,000	48,000	50,000
小ホール	平日	11,000	18,000	19,000
	土、日、祝日	13,000	21,000	22,000

- 営業行為等の場合は100%を加算します。
- 文化センターで本番を行うための準備練習に使用の場合は30%、文化センターで本番を行わない練習・録音等に使用の場合は80%とします。
- 2区分以上にわたって使用される場合は、合計金額の90%とします。
- 冷暖房を使用する場合は30%を加算します。
- 使用時間延長の許可は1時間を限度とし、延長時間が30分を越える場合は許可を受けた次の区分の使用料の30%をいただきます。使用許可を受けた区分が夜間の場合は夜間使用料の30%とします。

〒614 八幡市八幡高畑5番地の3  
文化センター事務室  
財団法人やわた市民文化事業団が承ります。  
お問い合わせは  
文化センターに関する  
電話(971)2111

# 開館記念に多彩な催し物

十一月三日から十三日まで、文化センターの開館を記念して、次のとおり多種多彩な催し物がおこなわれます。催し物会場と入場の方法等は左の十一月の催し物の表をごらんください。

## ●市民文化祭

三日午後から四日(二日間)  
三日月夜から四日(二日間)

●ファミリー・ジョッキーNHK  
三日(例) 午後三時から  
出演 八幡市婦人合唱団  
ゲスト 金沢明子

(放送日十一月四日)

●のど自慢(NHK)  
六日(例) 午後一時から  
ゲスト 都はるみ、細川たか

●ヨガ教室(NHK)  
九日(例) 午後二時から  
講師 かしい けいこ

●講演と箏曲の会  
十二日(出) 午後一時三十分から  
講演 上坂冬子「人生のドラマ」  
箏曲 東登美子(日本箏曲連盟)

●桂米朝一門会  
二十三日(例) 午後六時三十分

●子ども映画会  
十三日(例) 午前十時から三回  
上映(入替)  
上映作品 銀河鉄道999

●芸術から娯楽まではば広く自主事業  
財団法人やわた市民文化事業団では、大・小ホールを使って、芸術性の高いものから、大衆娯楽的なものまで、市民のみならず、喜んでいただける催し物を選んでお届けします。また、展示室での美術展や、講習室での各種講座、教室も企画していく予定です。

●十一月の自主事業  
十一月三日(例) 午後六時三十分

●名画鑑賞会  
二十九日(例) 午後六時三十分から

●「二十四の瞳」(35%)  
三十日(例) 午後六時から

●人間の条件1・2部(16%)  
\*十一月二日まで全巻一挙上映

●創林社南画展  
十一月(例) 十五日(火)

●京都写真芸術家展  
十六日(例) 二十日(日)

## 11月の催し物

(昭和58年10月18日現在)

### ●大・小ホール

日	曜	催し物	会場	開演時間	入場方法
3	祝日	開館記念式	大ホール	10:00~21:00	招待者
		市民文化祭(NHK・FMファミリージョッキー)	全館(大ホール)	13:00~21:00 (15:00~16:00)	自由
4	金	市民文化祭(2日目)	全館	9:00~17:00	自由
5	土	NHKのど自慢予選	小ホール リハーサル室	13:00~	自由
6	日	NHKのど自慢公開録画	大ホール	13:00~14:30	整理券
7	月	NHKきょうの料理公開録画	小ホール	14:00~16:00	整理券
9	水	市民寄席 NHKヨガ教室	大ホール 小ホール	18:30~20:30 14:00~16:00	整理券 整理券
12	土	講演と箏曲の会 南八幡高校合唱コンクール	大ホール 小ホール	13:30~15:30 9:00~12:00	整理券 対象者
13	日	市民まつり、子ども映画会	大ホール	10:00・12:00・14:00	自由
15	火	愛老会	大ホール	10:30~14:30	対象者
19	土	綴喜中学校音楽研究会 八幡市民オーケストラ第1回定期演奏会 ピアノ発表会(木下信子)	大ホール 大ホール 小ホール	13:00~17:00 19:00~21:00 15:00~17:00	対象者 有料 自由
20	日	ピアノ・エレクトーン発表会(馬淵肇子)	小ホール	13:00~16:00	自由
23	祝日	市内公立幼稚園大会 桂米朝一門会	大ホール 大ホール	9:30~13:00 18:30~20:30	対象者 有料
24	木	敬老会	大ホール	10:30~14:30	対象者
26	土	大阪フィルハーモニー交響楽団特別演奏会	大ホール	18:30~20:30	有料
27	日	稲尾光子バレエ研究所発表会 八幡市戦没者追悼式	大ホール 小ホール	14:30~17:00 10:30~14:00	自由 対象者
29	火	名画鑑賞会「二十四の瞳」	大ホール	18:30~21:00	自由
30	水	男山中学校演劇鑑賞 名画鑑賞会「人間の条件1・2部」	大ホール 大ホール	13:00~17:00 18:00~21:20	対象者 自由

主催者の都合により一部を変更する場合がありますから御了承ください。

### ●展示室

(昭和58年10月18日現在)

期間	催し物	開場時間	入場方法
3日~4日	市民文化祭	9:00~17:00	自由
6日~9日	NHKテレビパネル展	9:00~19:00	自由
11日~15日	創林社南画展	9:00~19:00	自由
16日~20日	京都写真芸術家展	9:00~19:00	自由

### 文化センターの駐車場について

文化センターの駐車場は、消防署の西側(右図参照)に設けております。駐車料金は、1回につき500円です。収容台数に限りがありますので、できるだけバスや自転車などでおこしください。

なお、11月3日の開館記念式、3~4日の文化祭、13日の市民まつりにおこしの場合は無料となります。

昭和57年度 文化庁芸術祭大賞・紀伊国屋演劇賞受賞

## 越後つついし親不知

作○水上 勉  
演出○木村光一  
主演○佐々木愛

12月6日(火)

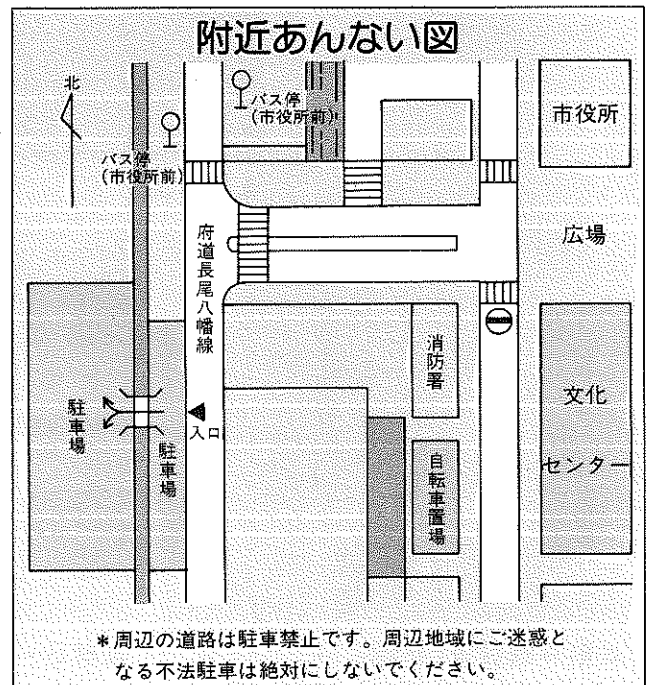
開場 18:00  
開演 18:30

前売券 1,800円  
当日券 2,300円

(高校生以下は1,000円)

\*前売券は文化センターで11月5日発売開始

### 附近あない図



\*周辺の道路は駐車禁止です。周辺地域にご迷惑となる不法駐車は絶対にしないでください。



## 音響重視の大ホール

### ◀大ホール(固定イス1210席)

固定イスのほか、車イスコーナー10席分と親子室2室をもつ客席は、舞台が見やすいワンスロープ方式。舞台の幅や高さは催物にあわせて変えることができます。ホール内の音響は特別な装置で音の奥行が調整でき、演劇から音楽まで最高の音響が得られます。

### ▼小ホール(可動イス700席)

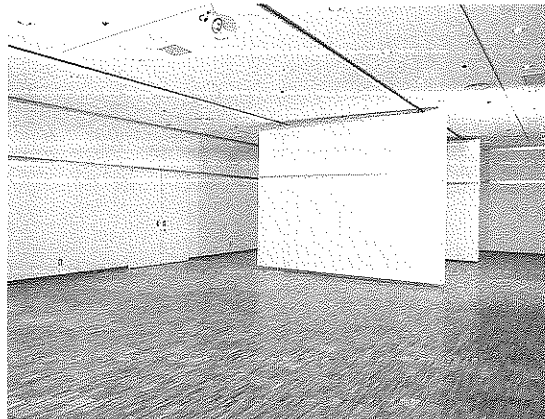
客席は、パーティー、レセプション、展示会にも利用できる平床式。舞台には音響反射板を設けており、音響と照明の設備があるほか、控室2室があり市民団体やグループの発表会に最適です。



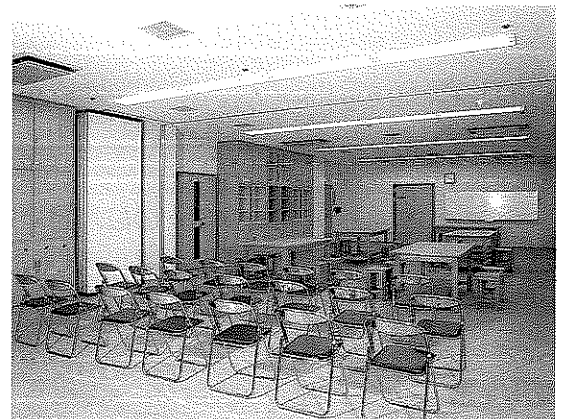
▲リハーサル室

## 日常の文化活動に 多数の部屋を配置

- 展示室 ● リハーサル室
- 練習室3室(洋室2、和室1)
- 会議室3室 ● 特別会議室
- 講習室7室(美術工芸用2、料理用1、洋室2、和室2)



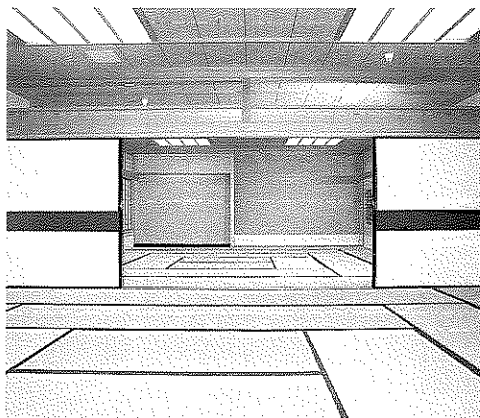
▲展示室



▲第2・3講習室(美術工芸)



▲第4講習室(料理)



▲第6・7講習室



▲特別会議室